

2018 年度第 2 四半期決算説明会 質疑応答

開催日 : 2018 年 11 月 9 日 (金)
出席者 : 代表取締役会長兼社長執行役員 中島 康輔
代表取締役副社長執行役員 加藤 孝明

【免震・制振用オイルダンパー関連】

1、能力増強について

- Q. 三重工場の生産能力を月産 100 本から 500 本に能力増強していく具体的なタイミングを教えてください。併せて、交換工事のスケジュールを教えてください。
- A. 代替品の生産は 2019 年 1 月に塗装/加工ラインを増強し、2019 年 4 月より組立 2 直化を実施予定。調達部品の確保なども併せて実施することで、月産 500 本体制を整えていく。
交換工事自体は当社のみでは行えず、建設会社様/所有者様等との調整の上、対応していく。
現状は、竣工前物件を優先して対応している。

2、製品保証引当金の内訳について

- Q. 免震・制振用オイルダンパーに係る製品保証引当金 144 億円の内訳を教えてください。
- A. 免震用オイルダンパー：交換品の製造原価 約 65 億円、交換工事に要する費用 約 63 億円。
制振用オイルダンパー：交換品の製造原価 約 17 億円。

3、制振用オイルダンパーの交換工事費用について

- Q. 制振用オイルダンパーの交換工事費用について、過去の実績を踏まえて教えてください。
- A. 制振用オイルダンパーは設置されている建築物の構造や状況が異なり、我々も過去に交換実績が無いため、合理的に金額が算出できていない。

4、今後の製品保証引当金の計上について

- Q. 第 3 四半期以降、免震・制振用オイルダンパーに関する、引当金の追加計上があるのかを聞かせて欲しい。
- A. 構造計算費用、交換工事の実施に伴って発生する保険料、補償料等の付随費用が今後発生する見込み。

5、免震・制振用オイルダンパーの不適合品について

- Q. 不適合品の数量自体は確定しているのか、増えることは無いのかを確認させてほしい。
- A. 不明分の調査は継続中だが、総数としては固まっていると考えている。



Our Precision, Your Advantage

6、交換スケジュールについて

- Q. 2年間交換品の生産に集中するということであるが、その交換スケジュールを教えてください。
- A. 当社における交換品の生産は、生産能力を月産500本まで上げ、2020年9月までに対応予定であるが、建設業界は人手不足という状況もあり、建設会社様、所有者様などと調整の上、交換作業を進めて参りたい。また、構造計算結果についても、計算値だけではなく、実際に建物にどのような影響があるかを説明会等で分かり易くご説明していきたい。

7、交換作業の完了予定時期について

- Q. 2020年9月に交換完了予定とのことであるが、その実現可能性を聞かせて欲しい。
- A. 生産体制整備により代替品生産は対応可能と考えているが、建設業界は人手不足という状況もあり、遅れることもあり得ると考えている。

8、今後の製品保証引当金の計上時期について

- Q. 免震・制振用オイルダンパーに係る費用はいつ頃見積もりが可能となるのかを教えてください。
- A. 今期中に見積もり可能なものとそうでないものがある。
制振用オイルダンパーの交換費用は、交換実績が出来たら、ある程度見積もり可能となる。
構造計算費用は、現在進行中であり、比較的早期に見積もりが可能となる。
補償費用は、現時点では全く算定できない。

9、増産対応の投資について

- Q. 今後発生する増産対応投資はどれ位の規模かを教えてください。
- A. 塗装/加工ラインの増強投資は、約3億円程度を想定している。

10、資金調達について

- Q. 製品保証引当金の計上に伴い資本が毀損してくる状況かと思うが、交換費用は自己資金で賄う予定か、借入を予定しているのかを聞かせて欲しい。
- A. 代替品の生産、交換に伴う支出は徐々に発生していくものであり、現段階、今年度の年度資金の目途は付いており、今後、資金計画を見ながら検討していく。

【その他事業について】

11、来期以降のAC事業/HC事業について

- Q. 来期以降に向けてのAC事業/HC事業それぞれの方向感を教えてください。
- A. 需要動向などの外部環境は今年度と大きく変わらないと見ている。HC事業については、建機自体の稼働率が落ちてきているという話はあるが、当社への引き合いの水準は変わっていない。
但し、現在の厳しい状況を踏まえて、総資産の圧縮や不採算事業の見直しを国内外で実施していかなければならないと考えている。



Our Precision, Your Advantage

1 2、AC 事業への影響について

Q. 自動車メーカーとは、今回の免震・制振用オイルダンパーの不正問題を受け、どういう話になっているのか？グローバル仕様統合の話も進んでいるのか？

A. 自動車メーカー、建機メーカー共に、当社製品の品質についての確認があり、工程設計仕様をご説明し、影響が無いことをご理解頂いている。一部メーカーからは工場にお越し頂き確認作業も行って頂いた。

グローバル仕様統合については、当社のみならず、お客様にとってのメリットもある話として提案して行きたい。

【配当について】

1 3、復配について

Q. 復配のタイミングについて、聞かせて欲しい。

A. 「連結株主資本配当率 2%（年率）ベースに連結配当性向 30%を目指す」という当社の配当方針自体は継続しており、現段階での復配予定時期は未定だが、今後の損失と純資産の状況によって 復配を考えたい。

以 上